

昭和二年茨城縣統計書第二編 學事ノ部

管 内 學 事 ノ 狀 況

總 說

本縣學事施設ノ狀況ハ大体從來ノ方針ニ基キ施設經營ノ歩々進メ之レカ發達進歩ヲ期シツ、アリト雖正時勢ノ惟移ニ伴ヒ教育振興上尙改善ヲ要スル所アルヲ認メ初等教育、實業教育、師範教育、社會教育等夫々內容ノ刷新充實ヲ圖リ以テ其ノ實蹟ヲ收メムコトニ努メタリ、即チ兒童ノ增加ニ伴ヒ土地ノ事情ト市町村財政トヲ參酌シ教育資金ノ貸付基本財產ノ繰入ニ夫々便宜ヲ與ヘ以テ校地ノ擴張校舎ノ増、改築等着々設備ノ改善ヲ圖リツ、アリ更ニ初等教育ノ普及發達並ニ其ノ內容改善ノ基調タル師範學校ヲ擴張シ又教員講習會研究會、協議會ヲ開催シテ資格ノ向上ト學力技能ノ修練トニ便セリ而シテ之カ監督指導ヲ周到ナラシムル爲ニハ學事指導員ヲ囑託シ中等教育及初等教育ノ指導獎勵ニ當ラシメ尙教員俸給並ニ年功加俸ノ增加住宅料疾病療治料ノ給與功勞者ノ表彰等ヲ行ビ教員優遇ノ實ヲ擧ケムコトニ努メタリ

社會教育ノ普及發達ヲ圖ラム爲メ圖書館又ハ巡回文庫ノ設置ヲ獎勵スルト共ニ展覽會講習講話會ヲ開催セシメ又青年團ニ就テハ國民精神作興ニ關スル 詔書ノ御趣旨ヲ恪遵シ内務文部兩大臣ノ訓令ニ依リ本縣ノ實狀ニ鑑ミ智德ノ練磨ト体育ノ向上トヲ圖リ日進ノ大勢ニ遅レサラムコトヲ期シツ、アリ尙補習教育ノ發達ニ順應ツテ益々善良ナル氣風ヲ養成スルト共ニ思想ノ善導ヲ圖ラムカ爲各地ニ青年幹部講習會處女會指導者講習會等ヲ開催シ以テ其ノ歸趨ヲ過ラシメサランコトヲ期セリ更ニ學校教育ト社會教育乃至ハ實業界トノ連絡ニ關シテハ常に其ノ交渉ヲ密接ナラシメ互ニ裨補提携シテ其ノ事業ノ振興ヲ圖ラシメツ、アリ又視學打合會小學校長會ヲ開催シテ學事上ノ施設監督指導等ニ關スル指示協議ヲ行ヒ苟モ遺漏ナカラシムルコトヲ期シタリ

本年度内ニ於テ學事ニ關シ令達シタルモノヲ列舉スレハ左ノ如シ

縣 令

- 一、小學校設置及廢止規程改正（昭和二年五月二十六日）
（縣令第四十九號）
- 一、太田高等女學校實科學則（昭和二年六月二十日）
（縣令第五十四號）
- 一、市町村立小學校教員加俸給與細則中改正（昭和二年七月十八日）
（縣令第六十二號）
- 一、縣立學校授業科及試驗手數料徵收規則中改正（昭和三年一月二十三日）
（縣令第一號）

- 一、縣立中學校學則中改正（昭和三年一月二十三日）
 (縣令第二號)
- 一、縣立高等女學校學則中改正（昭和三年一月二十三日）
 (縣令第三號)
- 一、縣立商業學校學則中改正（昭和三年一月二十三日）
 (縣令第四號)
- 一、縣立工業學校學則中改正（昭和三年一月二十三日）
 (縣令第五號)
- 一、茨城縣盲學校學則中改正（昭和三年一月二十三日）
 (縣令第六號)
- 一、茨城縣聾啞學校學則中改正（昭和三年一月二十三日）
 (縣令第七號)
- 一、縣立水戸農學校學則中改正（昭和三年一月三十日）
 (縣令第九號)
- 一、縣立石岡農學校學則中改正（昭和三年一月三十日）
 (縣令第一〇號)
- 一、縣立江戸崎農學校學則中改正（昭和三年一月三十日）
 (縣令第一一號)
- 一、縣立眞壁農學校學則中改正（昭和三年一月三十日）
 (縣令第一二號)
- 一、縣立取手農學校學則中改正（昭和三年一月三十日）
 (縣令第一三號)
- 一、縣立笠間農學校學則中改正（昭和三年一月三十日）
 (縣令第一四號)
- 一、縣立大子農學校學則中改正（昭和三年一月三十日）
 (縣令第一五號)
- 一、縣立鹿島農學校學則中改正（昭和三年一月三十日）
 (縣令第一六號)
- 一、下館商業學校縣立變更並學則中改正（昭和三年二月六日）
 (縣令第一八號)
- 一、縣立中學校學則中改正（昭和三年一月九日）
 (縣令第二一號)
- 一、師範學校學則中改正（昭和三年三月二十六日）
 (縣令第三七號)
- 一、茨城縣立女子師範學校學則中改正（昭和三年三月二十六日）
 (縣令第三八號)

訓 令

- 一、市町村義務教育國庫負擔法施行規程中改正（昭和二年五月二十三日）
 (訓令甲第一三號)
- 一、學事年報取調條項及諸表樣式中改正（昭和二年五月二十六日）
 (訓令甲第一四號)
- 一、市町村統計報告一覽簿處理ニ關スル規程（昭和二年六月六日）
 (訓令甲第一五號)
- 一、市町村統計事務視察規程（昭和二年十一月十日）
 (訓令甲第三八號)

告 示

- 一、久慈郡生瀬尋常高等小學校大生瀬分教場位置變更ノ件（昭和二年四月四日）
 (告示第一五四號)
- 一、那珂郡前渡村青年訓練所合併及名稱變更ノ件（昭和二年四月四日）
 (告示第一五五號)
- 一、那珂郡長倉尋常高等小學校地變更一件（昭和二年四月七日）
 (告示第一六三號)
- 一、多賀郡日立町立尋常小學校一校新設ノ件（昭和二年四月七日）
 (告示第一六四號)
- 一、猿島郡勝鹿尋常高等小學校地編入ノ件（昭和二年四月七日）
 (告示第一六五號)
- 一、那珂郡村田尋常高等小學校地編入ノ件（昭和二年四月七日）
 (告示第一六六號)
- 一、那珂郡結城郡尋常高等小學校小塙分教場位置變更ノ件（昭和二年四月十四日）
 (告示第一七九號)
- 一、那珂郡下妻實科高等女學校授業科改正（昭和二年四月十四日）
 (告示第一八六號)
- 一、那珂郡岩井實科高等女學校位置制定（昭和二年四月十八日）
 (告示第一八七號)

- 一、岩井實科高等女學校授業科額制定 (昭和二年四月十八日)
 (告示第一八八號)
- 一、筑波郡上郷尋常高等小學校村立圖書館設置認可 (昭和二年四月十八日)
 (告示第二〇四號)
- 一、結城郡大花羽尋常高等小學校地編入 (昭和二年五月二日)
 (告示第二一五號)
- 一、青年訓練所設置 (昭和二年五月二日)
 (告示第二一六號)
- 一、郡那珂郡八里尋常高等小學校地編入 (昭和二年五月十二日)
 (告示第二四一號)
- 一、青年訓練所設置認可 (昭和二年五月二十六日)
 (告示第二六七號)
- 一、住宅建設資金貸付規程廢止 (昭和二年五月三十日)
 (告示第二六九號)
- 一、茨城縣立聾啞學校學則中改正 (昭和二年五月三十日)
 (告示第二七〇號)
- 一、那珂郡佐野尋常高等小學校地編入 (昭和二年五月三十日)
 (告示第二七一號)
- 一、東茨城郡下大野尋常高等小學校地編入 (昭和二年六月六日)
 (告示第二八九號)
- 一、東茨城郡妻里尋常高等小學校地編入 (昭和二年六月六日)
 (告示第二九〇號)
- 一、稻敷郡木原尋常高等小學校地編入 (昭和二年六月六日)
 (告示第二九一號)
- 一、鹿島郡大同村立青年訓練所名稱變更 (昭和二年六月九日)
 (告示第二九九號)
- 一、小學校合併其ノ位置變更分教場新設ノ件 (昭和二年六月二十日)
 (告示第三一七號)
- 一、稻敷郡柴崎尋常小學校地編入 (昭和二年六月二十日)
 (告示第三一八號)
- 一、巡回圖書館開設 (昭和二年六月二十日)
 (告示第三二〇號)
- 一、鹿島郡沼前尋常小學校位置變更ノ件 (昭和二年六月三十日)
 (告示第三三八號)
- 一、茨城縣立圖書館夏期文庫開設 (昭和二年七月十一日)
 (告示第三六〇號)
- 一、太田高等女學校位置變更ノ件 (昭和二年十月十八日)
 (告示第五一七號)
- 一、東茨城郡綠岡村尋常高等小學校位置變更 (昭和二年十一月四日)
 (告示第五三八號)
- 一、古河實科高等女學校授業科額改定ノ件 (昭和三年二月九日)
 (告示第六四號)
- 一、茨城縣立境中學校設置開校ノ件 (昭和三年二月九日)
 (告示第七三號)
- 一、茨城縣立商業學校及下館商業學校々名變更ノ件 (昭和三年三月八日)
 (告示第一一七號)
- 一、小學校教員檢定ノ件 (昭和三年三月八日)
 (告示第一二〇號)

學齡兒童

學齡兒童ノ總數ハ二十七萬二千六百一人内男十三萬七千五百五十五人女十三萬五千四十六人ニシテ前年度ニ比スレハ男千八百七十九人女二千二十八人ヲ增加セリ而シテ就學兒童總數ハ二十三萬三千六百四人ニシテ之ヲ前年度ニ比レハ男二百六十人女二千四百三十八人ヲ增加シタリ就學始期ニ達シタル學令兒童ニ對スル就學歩令ヲ觀レハ男九十九人五分五厘女九十九人二分五厘平均九十九人四分ニシテ前年度ニ比シ男ニ於テ一厘女ニ於テ四厘平均二厘ヲ增加シタリ就學出席ノ督勵ニ關シテハ常ニ法規ヲ研究シ之カ徹底ヲ圖リ町村吏員學校職員ヲ督勵シテ專ラ勸誘ニ當ラシムルト共ニ學令兒童保護會及市町村教育會ノ活動ヲ促シ或ハ部落相互兒童ノ出席督勵ヲ獎勵スル等各種機關ヲ通シ之カ實行ニ努メツアリ就學猶豫免除ノ處分ヲ了シタルモノ、大部分ハ其ノ原因疾病不具者ニシ

テ貧困ノ爲ニ依ルモノ尠シ之等貧困兒童ノ救濟ニ關シテハ兒童就學獎勵規程ニ依リ相當之力救濟ノ方法ヲ講シ勢メテ就學出席ノ獎勵ヲナシツ、アルモ常ニ多數ノ不就學ヲ出セルハ頗ル遺憾トスル所ナリ

學令兒童ノ調査ニ關シテハ隨時吏員ヲ派シ學令簿學籍簿其ノ他就學事務ノ檢閱ヲ行ヒ指示注意ヲ與ヘ勢メテ帳簿ト實際トノ一致ヲ圖ラム様勢メツ、アリ小學校令第三十六條第一項ノ但書ニ依ルモノ、内師範學校附屬小學校ニ於テ修業スルモノハ男三百六十四人女二百五十七人ニシテ又家庭其ノ他ニ於テ尋常小學ノ教科ヲ修ムルモノハ男六人女三人ナリ

小 學 校

小學校數ハ市町村立尋常小學校百四十七校分教場五校尋常高等小學校三百九十四校分教場百十二校計六百五十八校ニニシテ之ヲ前年ニ比スレハ總數ニ於テ四校ヲ増加シタリ而シテ學校ノ種類ニ依リ其ノ增減ヲ比較スレハ尋常小學校ニ於テ一校ヲ減シ分教場ニ於テ一校ヲ増加シタリ尋常高等小學校ニ於テハ本校四校ヲ増加シ分教場ハ増減ナク前年同様ナリ學校ノ設備ニ在リテハ數年來ヨリ督勵ノ結果漸次整備ノ域ニ達セムトシツ、アルモ遂年兒童增加スルヲ以テ校舍ノ増改築、校地ノ擴張ヲ要スルモノ尙尠ナカラス

市町村立小學校ノ學級ハ尋常科三千九百二十九學級高等科八百五十五學級補習科一學級計四千七百八十五學級ニシテ前年度ニ比スレハ百二十學級ヲ増加シタリ而シテ其ノ編制タルヤ尋常科ハ單級ヨリ三十六學級ニ至ル内最多ナルハ六學級ニシテ十二學級之ニ亞キ高等科ハ單級ヨリ八學級ノモノニ至ル内最多ナルハ二學級ニシテ單級ノモノ之ニ亞ケリ又制限超過編制ヲナスモノハ尋常高等小學校ニ於テ二十五學級ニ校三十八學級二十九學級三十二學級三十六學級ノモノ各一校ナリ學校配置ノ狀況ハ概シテ適當ノ位置ニアリ而シテ特ニ兒童通學上困難ナル地ニ在リテハ分教場ヲ設置セシメ又ハ通學道路ノ改修ヲナサシメツ、アルヲ以テ通學上著シキ不便ヲ認メス補習科ノ設置シアルハ尋常高等小學校一校ニ比シ増減ナキヲ以テ特記スヘキ事項無シ

加設科目ハ尋常小學校ニ於テ手工ヲ課スルモノ五十六校分教場一校計五十七校尋常高等小學校ニ於テ尋常高等兩科ニ手工英語ヲ課スルモノ十二校尋常科ノミニ手工ヲ課スルモノ二百二十四校分教場三十八校高等科ノミニ英語ヲ課スルモノ三校合計三百三十四校ニシテ孰レモ該科加設ノ目的ニ從ヒ內容ノ改善ヲ圖リツ、アリ

授業料ハ尋常科ハ徵收セサル方針ナルモ市町村財政上止ムヲ得ス徵收スル學校ハ尋常小學校四校尋常高等小學校尋常科ニ於テ二校計六校ナレトモ貧困者ニ對シテハ相當減免ノ方法ヲ講シツツアルヲ以テ義務教育普及上別段ノ支障ヲ認ナス教員ノ需要供給ニ關スル縣内小學校ノ教員充實歩合ヲ示セハ次ノ如シ

學級數	男女別	本科正教員	専科正教員	准教員	代用教員	計	學級ニ對ス ⁴ 本科正教員允 充步合
4,671	{ 男 女 計	2,850 803 3,653	129 371 500	868 60 428	434 257 691	3,781 1,491 5,272	78.21

右表ノ如ク本科正教員ハ三千六百五十三人ニシテ學級數四千六百七十一ニ比スレハ百學級ニ對シ七八十八人ノ配置ニ當ル而シテ教員ノ不足並ニ其ノ質ノ良否カ兒童教育上ニ及ボス影響甚大ナルヲ以テ前述シタル如ク師範學校ノ擴張ヲナシ向フ五ヶ年後ニハ本科正教員充實歩合百ニ對シ八十パーセントニ達セシムヘク之カ實施ニ着手シツ、アリ更ニ應急策トシテ縣教育會ナシテ中等學校卒業者ノ爲ニ本科正教員養成講習會ヲ開催セシメ試験ノ上尋常小學校本科正教員ノ免許狀ヲ授與シタルト又毎年定期ニ小學校教員檢定試験ヲ施行シ其ノ資格ヲ向上セシメ以テ需要供給ノ圓滑ヲ計リツ、アリ

教員ノ任免ニ就テハ特ニ慎重ニシ可成勵績ヲ獎勵シ一面ニ於テハ市町村ナシテ義務教育國庫負担金ノ大部分ヲ以テ教員ノ俸給ニ充當セシメ以テ待遇ノ向上ヲ圖リ尙住宅施設、住宅料ノ支給等經濟ノ許ス限り優遇ノ方法ヲ講セシメツ、アリ

幼稚園

幼稚園ハ公立七、私立十、計十七園ニシテ前年度ニ比シ一園ヲ減シタリ而シテ其ノ設備ハ之カ改善ニ努力申ニアルヲ以テ稍完備セラレ幼兒ハ男六百八十七人女七百二十二人テ收容シ保姆有資格二十三人無資格十九人ニシテ保姆一人ニ對シ保育幼兒平均三十五人ニ當ル入園志願者ハ逐年增加ノ傾向ニシテ又保育ノ狀況概シテ良好ナル成績ヲ收メツ、アリ

師範學校

師範學校ハ縣立二校ニシテ其ノ設備ニ關シテハ本年度ニ於テ寄宿舍二棟ヲ增築シ遂次安備ヲ期シツ、アルモ校具器械標本等ハ舊式ニ屬スルモノ多ク專攻科設置ノ關係上改善チ要スルモノ渺カラス教員ノ需要供給調免俸給其ノ他待遇上ニ關スル狀況ニ就キ略記スルニ教員ノ多クハ勤續多年ニ亘ルト雖凡本年度内ニ於ケル異動ハ轉任者十人退職者四人ニシテ之レカ補充ノ爲ト本科一部專攻科學級ノ增加トニ依リ四人ヲ增員シタリ俸給平均額ハ男師、本科百二十圓專攻科百八十圓訓導七十五圓女師ハ本科百十一圓專攻科百六十五圓訓導七十三圓ニシテ年功加俸ハ四十八圓乃至百六十八圓ヲ支給シ待遇モ漸次改善セラレツ、アリ

有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別ハ別紙ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員												無 資 格		計					
	高等師範學 校又ハ女子 高等師範學 校卒業		臨時教員養 成所又ハ實 業教員養成 所卒業		無試験検定ニ依ルモノ															
	官立大 學校卒業	公立大 學校卒業	專門學 校卒業	實業專 門學校卒業	其ノ他 經歴ニ 依ル者	試験檢 定ニ依 ルモノ	計	教 員	男	女	男	女	男	女	男	女				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
茨城縣師範學校	13	—	1	—	1	—	4	—	—	2	—	5	—	27	—	△ 8 ×△ 5	—	27 △ 8 ×△ 5		
茨城縣女子師範學校	8	3	3	1	1	—	—	—	1	—	—	1	2	—	14	6 △ 1 ×△ 1	2 △ 1 ×△ 1	14 8 △ 1		
計	21	3	4	1	2	—	1	—	4	1	—	—	2	1	7	—	41	6 △ 9 ×△ 6	2 △ 9 ×△ 6	41 8 △ 1

×印ハ兼務者 △印嘱託講師

生徒訓育ノ状況、教育ニ關スル勅語ノ御趣旨ニ基キ大体前年度來ノ方針ニ則リ特ニ學校長ハ必要ニ應シ隨時訓話ヲ行ヒ生徒ノ自覺修養ヲ促シ校風ノ樹立ヲ圖リ常ニ思想ノ善導ニ留意スルハ勿論各學科教授ノ際機會アル毎ニ教育者タルノ品性ノ陶冶ニ努メ以テ其ノ信念ヲ鞏固ニシ且体育方面ニ於テモ從來ノ施設ヲ一層徹底的ニ自覺的ニ實行セシメ身体ノ鍛練ト健康ノ増進トヲ圖リツ、アリ生徒教練ニ關シテハ本科第一部第五學年全第二部生徒ノ夏期二週間第四學年生徒ノ冬期一週間ノ軍事講習ハ共ニ心身ノ修練ニ資シ軍事ノ理解ニ利シ其ノ成績特ニ顯著ナルヲ認メタリ

生徒ノ學業ニ就テハ生徒ヲシテ自學自習ニ努メシメ且ツ寄宿舍圖書館等ヲ利用セシメ又實驗實習ヲ重ンシ課程ノ外實地見學ヲナサシメ實際的知識ノ收得ニ努ムル様指導シタル結果學業ノ成績漸次進歩ノ域ニ向ヒツ、アリ

生徒修學旅行ハ地理、歴史、理化ニ關スル實地踏査博物採取又ハ參觀ノ目的ヲ以テ關東、關西、北陸方面其ノ他縣内ヘ旅行ヲナサシメ豫定ノ目的ヲ達シ少ナカラサル効果ヲ收メ得タリ

入學志願者ハ千百二十人ニシテ前年度ニ比シ二十一人ノ增加ヲ見タリ之レカ入學率ハ三十三人強ノ状況ニアリ左ニ大正十二年以降ノ入學志願者ヲ示セハ次ノ如シ

	大正十二年度	全 十三年度	全 十四年度	昭和元年度	全 二 年 度
師 範 學 校	第一部 244	370	658	461	470
	第二部 79	109	163	245	227
	專攻科 —	—	—	33	67
女子師範學校	第一部 208	376	495	266	247
	第二部 68	103	157	69	78
	專攻科 —	—	—	25	11
計	第一部 452	746	1,153	727	737
	第二部 147	212	320	314	305
	專攻科 —	—	—	58	78

尙入學者父兄ノ職業別ハ別表ノ如シ

學 校 名	農業	水産業	礦業	工 業	商 業	交通業	公 務	其ノ他ノ 有業者	家 事 使 用 人	無職業	計
茨城縣師範學校	第一部 76	—	—	—	15	—	16	8	—	2	117
	第二部 43	—	—	—	13	—	12	4	—	1	78
	專攻科 42	—	—	—	1	—	6	6	—	3	58
全女子師範學校	第一部 50	—	—	2	8	—	17	—	—	1	78
	第二部 24	—	—	—	1	—	7	2	—	1	35
	專攻科 7	—	—	—	1	—	3	—	—	—	11
合 計	第一部 126	—	—	2	23	—	33	8	—	3	195
	第二部 72	—	—	—	14	—	19	6	—	2	113
	專攻科 49	—	—	—	2	—	9	6	—	3	69

本年度卒業者ハ師範學校本科第一部七十六人第二部七十七人專攻科五十六人女子師範學校一部七十四人二部三十一人專攻科十一人ニシテ孰レモ縣下各小學校ニ就職シタリ

附屬小學校ハ二校、村立小學校ヲ代用附屬小學校トシタルモノ一校ニシテ其ノ設備畧備ハレリ兒童ノ教養ニ關シテハ大体從來ノ方針ヲ繼承シ教授ハ實力養成ヲ主眼トシ智識技能ヲ確實ニ收得セシメ自學的態度ヲ馴致育成スルコトニ努メ以テ教授學習ノ徹底ヲ期セリ尙教授法ノ改善ニ努ムルト共ニ兒童心身ノ發達ニ留意シ學校ト家庭トノ連絡ニ就キテハ雑誌ヲ發行スル等協力的ニ兒童ノ教養ノ効果ヲ高ムルコトニ務メツ、アリ又地方諸會ノ招聘ニ應シ主事及訓導ノ講話或ハ實地指導ニ出張シ又地方ヨリ來觀スルモノ一層增加ノ傾向ニアリ尙縣下小學校聯合研究會ヲ女子師範學校及其ノ他學校ニ開催シ公民教育、体操科及成績考査個性尊重適性指導等ニ關シ共同研究ヲ遂ケタリ

中 學 校

中學校ハ從來縣立八校ナリシモ本年度ニ三年間繼續事業トシテ境中學校ヲ增設シタリ其ノ設備ニ至リテハ各校共教育ノ普及ニ伴ヒ學級ノ増加スヘキヲ以テ校舍寄宿舎ノ增改築ヲ要スルモノ又教具校具ノ設備不充分ナルモノアルヲ以テ善々之を整備充實ヲ圖リツ、アリ有資格教員免許狀ヲ受得シタル事由別人員ヲ舉クレハ別表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員												無資格 教員	總 計		
	無試驗檢定ニ依ルモノ															
	高等師範學 校卒業	臨時教員養 成所卒業	官立大 學校卒業	私立大 學校卒業	專門學 校卒業	實業專 門學校卒業	其ノ他 經歷者	試驗檢 定ニ依 ルモノ	計							
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
茨城縣立水戶中學校	2 × 1	—	2	—	2 —	—	5	—	—	△1	—	24 △ 2 × 1	—	4 △ 1 × 1		
茨城縣立太田中學校	— × 1	—	2	—	2 —	—	3	—	4	—	1	—	5 △ 1 × 1	—	3 △ 1 × 1	
茨城縣立土浦中學校	2 × 1	—	2	—	1 —	—	4	—	2	—	1	—	5 △ 1 × 1	—	1 △ 1 × 2	

學 校 名	有 資 格 教 員														無資格 教員	總 計		
	高等師範學校又ハ女子高等師範學校卒業		臨時教員養成所又ハ實業教員養成所卒業		官立大專學校卒業		公私立大學校卒業		專門學校卒業		買業専門等校卒業		其ノ他経歴者					
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
茨城縣立龍ヶ崎中學校	6 × 1	-	2	-	-	-	3	-	-	-	5	-	6 △ 1	-	22 △ 1	-	22 △ 1	
茨城縣立下妻中學校	-	-	2	-	×	1	3	-	7	-	1	-	-	6 △ 2	-	2 △ 2	-	21 △ 1
茨城縣立水海道中學校	5 × 1	-	2	-	-	-	1	-	1	-	1	-	8	-	19 × 1	-	23 × 1	
茨城縣立鉢田中學校	4 × 2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7 × 1	-	14 × 3	-	14 △ × 1	
茨城縣立日立中學校	3 × 1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	8 × 1	-	8 △ × 1	
茨城縣立境中學校	1 × 1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2 × 1	-	2 △ 2	
私立茨城中學校	1 × △ 2	-	1	-	1	-	-	-	-	-	1	-	2	-	6 × △ 2	-	3 △ 1	
計	24 × 9 × △ 2	-	19	-	7 × 1	-	13	-	22	-	4	-	10 △ 1	-	52 △ 6 × 1	-	168 151 × 11	
															17 △ 7 × △ 2 × 11	-	10 △ 3 △ 1 × 12 △ 3	

×印ハ兼務者 △印ハ講師

教員ノ需要供給勤績轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ關シ略記スレハ異動者他學校ニ比シ永年勤績スルモノ歎キ感アルモ之カ待遇ニ於テ幾分向上シタルヲ以テ教員ノ不足ハ昨今稍緩和セラレタリ本年度俸給平均額ハ百二十圓年功加俸ハ百二十圓乃至一六八圓ニシテ待遇ノ途ヲ講シツ、アリ

生徒訓育ニ就テハ從來ノ方針ニ則リ品性ノ陶冶ニ努メ質實剛健ノ氣風ヲ養ヒ道徳ノ實踐ヲ督勵シ生徒ノ思想善導ニ就キテハ世態ノ風潮ニ省ミ深甚ナル考慮ヲ拂ヒ各教科ト連絡シ批判教授シ遺憾ナキヲ期シツ、アリ

生徒教練ニ關シテハ銳意其ノ目的ノ達成ニ努ムルヲ以テ教練振興ト共ニ生徒訓育上多大ノ効果ヲ收メタルモノト認ム生徒ノ學業ニ關シテハ教授ノ改善進歩ヲ圖リ且自學自習ノ習慣ヲ養成シ以テ平素ノ勉學ヲ獎勵スル等學業ノ向上ニ努メ又体育獎勵ニ就キテモ常ニ意ヲ用ヒツ、アルヲ以テ相當ノ成果ヲ收メタルモノト認メラル

生徒修學旅行ニ就テハ地理、歴史、理化等實地研究ノ目的ヲ以テ關東、關西、北陸又ハ縣内數ヶ所ニ旅行ヲ爲サシメ其ノ効果ヲ舉ケシムルコトニ努メタリ

入學志願者ハ本年度二千六百四十一人前年ニ比シ百九十六人ヲ增加シタリ之レカ入學率ハ四三人強ニシテ大正十二年以降ノ入學志願者ヲ示セハ左ノ如シ

	大正十二年度	全十三年度	全十四年度	昭和元年度	全二年度
本科	2,376	2,471	2,462	2,445	2,641

入學父兄ノ職業別ハ別表ノ如シ

學 校 名	農 業	水産業	礦 業	工 業	商 業	交 通 業	公 務 自由業	其ノ他ノ有業者	家 事 使用人	無職業	計
茨城縣立水戸中學校	47	2	1	11	36 2	2	* 83 12	-	-	16 3	198 * 17
全 太 田 中 學 校	86 * 2 △ * 1	1	1	9	24 1	2	* 19 3	1	-	1	144 * 6 △ * 1
全 土 浦 中 學 校	76 △ * 1	1	-	2	30 2	1	* 33 1 4	-	-	10 * △ 1	153 * 6 * 1 △ * 2
全 下 妻 中 學 校	89 * 1 * △ 1	-	-	* 6 1	20	4 3	* 27 2 △ 1	-	-	2 1	148 * 8 * △ 2
全 龍ヶ崎中學校	91	-	-	4	35	1	* 19 1	7	-	*	157 * 1 * 1
全 水海道中學校	80 * 2	-	-	6	23	3	* 18 1 1	-	-	4 1	140 * 1 * 4
全 錐 田 中 學 校	65 △ * 1	-	-	3	16	-	16	-	-	1	101 △ * 1
全 日 立 中 學 校	32	1	14	33	12	-	7	3	-	2	104
私 立 茨 城 中 學 校	48 * 22	-	-	* 4 5	15 8	* 1	* 10 6	* 22 5	-	7	106 * 47
計	614 * 27 * △ 4	5	16	78 6	217 13	* 13 4	* 232 28 3 △ * 1	* 33 5	-	43 6 * △ * 1	1,251 * 3 * 89 △ * 6

×印ハ第一學年入學者 *印ハ第二學年以上ニ係ル轉入學者

△印ハ全上ニ係ル再入學者

私立中學校ハ一校ニシテ其ノ設備ニ就テハ昭和二年二月二十八日認可後銳意之
力整備充實ヲ圖リツ、アリ生徒訓育ニ關シテハ水戸學ノ精神ヲ經トシ創立者飯
村丈三郎氏ノ報恩感謝ノ精神ヲ緯トシテ訓育ニ努メ相當ノ成績ヲ擧ケツ、アリ
學業ノ進否ハ創立日尙淺ク十分ノ進境ヲ見ル能ハサレトモ相當ノ進歩ヲ認ム入
學志願者ハ四百十五人ニシテ斯ク多數ヲ見タハニニ學校開始祝ノタメ試驗手數
料ヲ免除シタル結果ニ依ルナラン又軍事教練ニ就テハ配屬將校赴任後着々計畫
ヲ進メ銳意生徒訓育ニ注意ヲ拂ヒ校風ノ樹立ニ努メツ、アリ

高 等 女 學 校

高等女學校ニ在リテハ縣立六校市立一校實科高等女學校町立三校組合立三校計
六校ニシテ前年度ニ比シ縣立一校ヲ增加シタルハ太田實科高等女學校ヲ縣ニ移
管シ本科ニ昇格シタルト又實科高等女學校ノ増減ナキハ岩井實科高等女學校新

設シタルニ依ルモノナリ然シテ縣立學校ノ設備ハ遂年整備セラレツ、アルモ其ノ他學校ニアリテハ尙充分ナラサルモノアルヲ以テ漸次元實ヲ圖リツ、アリ有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事山別人員ハ別表ノ如シ

學 校 名	有資 格 教員																		無資格 教員		總 計		
	高等師範學校		高等師範學校		臨時教員養成所		實業教員養成所		官立學校		私立學校		專門學校		實業專門學校		其他		試驗檢定二依ルモノ				
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
茨城縣立水戸高等女學校	2*	1	7	1	2	—	—	—	—	1	—	—	4	4	2	1*	9	15	—	1*	9	16	
茨城縣立土浦高等女學校	2*	1	4	1	2	1	—	—	4	1	1	1	—	—	4	1*	10	14	—	△*	10	14	
茨城縣立下館高等女學校	1*	1	3	—	—	—	—	2*	1	—	—	—	—	1	1	2*	6	8	×	2	7	2	
茨城縣立水海道高等女學校	1	2	—	—	1	1	2	—	—	2	—	—	—	—	1	1	5	5	×	1	5	6	
茨城縣立龍ヶ崎高等女學校	—	3	1	2	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	1	1	3	8	×	1	3	8	
茨城縣水戸市立高等女學校	1	1	1	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	—	4	—	6	3	△	2	6	
茨城縣立太田高等女學校	* 1	3	1	—	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—	—	2*	4	4	1	△	4	6	
計	*	7	4	23	8	6	2	1	—	4	8	2	6	1	—	4	6	15	8	△*	43	57	64
茨城縣石岡實科高等女學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	1	1	3	×	2	1	4	
茨城縣下妻實科高等女學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	1	—	1	3	2	1	4	
猿島郡古河實科高等女學校	—	2	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	1	3	2	1	3	
茨城縣鉢田實科高等女學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1	2	△	2	1	2	
茨城縣取手實科高等女學校	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	3	—	—	—	1	2	—	3	5	△	1	5	
茨城縣岩井實科高等女學校	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	1	1	2	1	
計	—	2	—	—	1	1	—	1	4	—	—	2	1	6	△*	4	2	17	8	△*	5	10	19

學 校 名	有 資 格 教 員												無資格 教員		總 計								
	高 等 師範 學 校 又 ハ 女 子 高 等 師範 學 校 卒 業		臨 時 教員 養 成 所 又 ハ � 實 業 教員 養 成 所 卒 業		官 立 大 學 校 卒 業		公 私 立 大 學 校 卒 業		專 門 學 校 卒 業		實 業 專 門 學 校 卒 業		其 ノ 他 經 歷 依 ル 者										
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女							
合 計	7	4	25	8	7	3	5	8	*△1	3	10	1	2	5	12	△4	19	51	74	△4	7	9△11	83
	*				*	1								*	1			*	△5	△2	*	7×1	△2
																		×	×	1	△1	△6	△2
																		*	△1	*	1	*	1
																		*	1	*	1	*	1

*印ハ兼務者 ×印ハ本科正教員ノ免許状ヲ有シ第二學年以下ノ教授ヲ擔任スル者 △印ハ講師

教員ノ需要供給勤續轉免俸給加俸其ノ他待遇上ニ關シテハ大體師範學校中學校ニ於テ記述セシ事項ト大差ナキヲ以テ特記セス
生徒訓育ニ關シテハ從來ノ方針ニ依リ生徒ノ道德意識涵養ヲ基礎トシ時代ニ適應スル性格ノ修養ニ努メ且思想ノ善導ニ留意シ一面溫良貞淑婦德ノ養成ニ特ニ力ヲ用エツ、アリ生徒學業ニ就テハ常ニ教材ニ對スル確實ナル理解更ニ有効ナル陶冶ヲ育成セントシテ自學自習ノ風ヲ馴致シ熱心眞摯ナル研究的態度ノ養成ニ努メツ、アレハ學業ノ進歩モ又一般ニ良好ニ進ミツ、アリ

入學志願者ハ遂年增加ノ傾向ニアリテ本年募集人員千三百九十人ニ對シ入學志願者二千七百八十三人ノ多キニ達シ之レカ入學率四十七人ナリ尙本年度入學者父兄ノ職業別ハ別表ノ如シ

學 校 名	農 業	水 業	礦 業	工 業	商 業	交 通 業	公 自 由 業	其 ノ 他 有 業 者	家 事 使 用 人	無 職 業	計
茨城縣立水戸高等女學校	30 * 2 △ * 1	—	1	1	14 * 1	70 1	— * 14 △ * 1	48 2 * 14 △ * 1	83	— * 2 2	212 * 19 △ * 2
茨城縣立土浦高等女學校	102 * 5 △ * 3	—	—	3	× 2 * 4 △ * 1	47 2 * 1	42 1	— — —	12 3	208 * 13 △ * 4	
茨城縣立下館高等女學校	60	—	—	1	15 * 1	35 1	4 * 3	29 3	6	— * 1	156 * 5
茨城縣立水海道高等女學校	58 * 1	—	—	—	—	27	4 * 1 * 2	14	— —	— —	103 * 1 3
茨城縣立龍ヶ崎高等女學校	48	—	—	—	5	23	— * 2 * 1	27 2	— —	1 12	104 * 2 △ * 1
茨城縣水戸市立高等女學校	21	—	—	—	11 * 1	20 1	2 * 3 * 3	33 3	1	— * 1	114 * 4 5
茨城縣立太田高等女學校	49 * 0 19	—	—	—	2 * 0 8	22 * 0 14	2 * 0 2	21 3	21 1	3 * 0 1	104 * 1 * 0 50

學 校 名	農 業	水産業	礦 業	工 業	商 業	交 通 業	公 務 自 由 業	其ノ 有 業 者	家 事 使 用 人	無職業	計
計	368 * 8 △ * 4 * 0 19	1	2	50 * 0 8	253 * 7 △ * 1 * 0 2 * 0 14	193 × 6 * 25 △ * 2 * 0 3	61 × 1	* 0 1	56 * 1 * 7 * 0 3	1,001 × 10 * 47 △ * 7 ○ * 50	
茨城縣石岡實科高等女學校	22	—	—	5	11	1	12	—	—	1	52
茨城縣鉢田實科高等女學校	37 * 2	—	—	—	13 * 1	—	5 * 2	4	—	—	59 * 5
猿島郡古河實科高等女學校	21	—	—	—	—	22 * 2	3 * 1	9 1	—	—	55 * 2 * 3
茨城縣下妻實科高等女學校	39 * 31	—	—	* 2	13 * 9	* 1	3 * 8	3 * 3	—	1 2	59 * 56
茨城縣取手實科高等女學校	37	—	—	2	10	—	—	1	—	—	50
茨城縣岩井實科高等女學校	10	—	—	—	10	—	4	1	—	—	25
計	106 * 33	—	—	* 7 * 2	57 * 10	23 * 3	27 * 11	18 * 3	—	—	300 * 64 * 2
合 計	534 * 41 △ * 4 * 0 19	1	2	* 0 8	310 * 17 △ * 1 * 2 * 0 14	37 * 3 * 2 * 0 3	220 * 7 * 36 * 2 * 0 3	79 * 2 * 3	58 * 1 * 9 * 0 3	1,301 × 12 * 111 △ * 7 * 0 50	

×印ハ第一學年轉入學者 *印ハ第二學年以上ニ係ル轉入學者

△印ハ全上ニ係ル再入學者 ○印ハ編入學ヲ許可シタル者

實 業 學 校

農學校ハ縣立八校町村立二校商業校學ハ縣立一校町村立三校工業學校ハ縣立一校職業學校ニ屬スル技藝學校ハ町立三校計十八校ニシテ前年度ニ比シ北總實習學校ノ縣移管ニ依リ農學校一校ヲ增加シタリ農學校ノ設備ハ大体前年記述セシ如ク漸次改善セラレツ、アルヲ以テ稍完備セルモ縣移管ノ學校ニ於テハ尙設備ノ急ヲ要スルモノ少ナカラサルノ狀況ニアリ有資格教員ノ免許狀ヲ受得シタル事由別人員ハ次表ノ如シ

學 校 名	有 資 格 教 員										無 試 格 教 員				總 計			
	學位 ナ有 スル 者	大學卒業 又ハ學士 ト稱スルコ トヲ得ル者		文部大 臣ノ指 定シタ ル者		文部大 臣ノ認 可シタ ル者		教員免許 令ニ依リ 教員免許 ヲ有スル者		計	公立 私立 教員資格 三關 規程第九條 ニ依ル者	其 他						
		男	女	男	女	男	女	男	女			男	女					
茨城縣立工業學校	—	—	1	—	* 11	—	—	1	—	13	—	—	4	—	17	17		
全 水戸農學校	1	—	—	—	* 9	1	—	△ 1	—	—	—	—	△ 1	—	△ 3	3		
全 石岡農學校	—	—	2	—	4	—	—	△ 1	—	9	—	1	—	—	10	10		
			* 1	—	—			—		—			—	△ 1	—	△ 1		

學 校 名	有 資 格 教 員												無 資 格 教 員				計	
	學位 ヲ有 スル 者		入學卒業 又ハ學士 トヲ得ル者		文部大臣 ノ指 定シタ ル者		文部大臣 ノ認 可シタ ル者		教員免許 令ニ依リ 教員免許 ヲ育スルモノ		計		公立立 實業學 校教員資格ニ關 スル規程第九條 ニ依ル者		其 他			
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
結城郡結城町立農學校	—	—	—	—	—	—	—	—	7	—	—	—	—	—	7	—	*△1	
茨城縣立笠間農學校	—	—	—	—	2	—	—	*	1	2	4	—	1	—	5	—	*1	
全 大子農學校	—	—	—	—	3	—	—	*	1	3	6	—	—	—	6	—	*1	
全 鹿島農學校	—	—	—	—	3	1	—	—	2	5	—	—	—	—	5	—	*△1	
全 江戸崎農學校	—	—	1	—	6	—	△1	—	*	3	10	—	—	—	10	—	△1	
全 真壁農學校	—	—	—	—	—	—	1	—	7	2	8	—	—	—	9	—	△2	
茨城縣立取手農學校	—	—	—	—	—	—	1	—	3	4	—	1	1	—	5	1	6	
茨城縣小瀬農學校	—	—	—	—	7	1	2	—	1	10	—	—	—	—	10	—	△3	
農學校合計	1	—	3	—	34	3	5	△1	*1	36	79	—	3	1	6	3	*△3	
茨城縣立商業學校	—	—	—	—	11	1	—	—	—	8	19	—	—	—	21	—	△1	
茨城縣湊商業學校	—	—	—	—	3	—	—	—	—	6	9	—	1	—	11	—	△1	
茨城縣下館商業學校	—	—	—	—	9	1	—	—	—	2	11	—	—	1	12	1	*1	
茨城縣古河商業學校	—	—	1	—	—	—	4	—	—	5	—	—	—	—	5	—	△2	
商業學校合計	—	—	1	—	23	2	4	—	△	16	44	—	1	—	4	2	*△12	
久慈郡大子町立大子女 子技藝學校	—	—	—	—	—	—	2	—	—	2	—	—	1	—	1	2	*1	
行方郡潮來町立女子技 藝學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	2	—	—	—	1	1	△3	
結城郡結城女學校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	—	—	—	—	2	2	△3	
計	—	—	—	—	—	—	—	—	2	—	5	—	7	*	1	1	*△1	

* 印ハ兼務者 △印ハ講師

生徒訓育ニ就キテハ其ノ施設ニ於テ各校多少ノ差異ナキニア。ラサレトモ要ハ地方ニ適應スル實際農業者タルモノ、養成ヲ目的トシ公民的訓練尊農思想勤勞ノ美風實實剛健ノ氣風ノ養成ニ努メ常ニ生徒ノ個性ト家庭ノ狀況トヲ調査シ適切ナル智識技能ヲ授ケツ、アルヲ以テ其ノ學業一般ニ良好ニ向ヒシ、アリ尙生徒訓練ノ狀況ニ就テハ中學校ト同一ナルヲ以テ特記セス。

入學志願者ハ縣及町村ヲ通シ千五百八人内入學ヲ許可シタル者八百七十七人ニシテ之レガ入學率五十八人ナリ卒業者就職ノ狀況ハ大部分實業從事者ニシテ學校職員又ハ官公吏等ニ就職シタル者アリ學校ト實業界トノ關係ニ就テハ努メテ學校教育ノ社會化ニ勉メ可及的ニ學校ヲ開放シテ地方農業者ノ研究ニ資スヘク農事ノ相談、各種農產物品評會ノ開催、農場見學、種苗種豚ノ分壩、講習講話會ニ講師ヲ派遣スル等農業智識ノ普及改善ヲ圖リツ、アリ。

商業學校ハ縣立一校町村立三校ニシテ前年ニ比シ増減ナシ其ノ設備ハ逐年改善セラレツ、アルモ末タ完備ノ域ニ達シタリト言フヲ得ス生徒訓育ニ就テハ從來ノ方針ヲ繼承シ商業道德ノ養成ニ重キヲ置キ指導獎勵ニ努メタル結果生徒ノ學業モ向上シタルモノト認メラル又入學志願者ハ本年八百六人ハ他學校ト同様逐年增加ノ傾向ニシテ之レガ入學率ヲ示セハ四十八人ナリ卒業者ノ就職ノ狀況ニ就キテハ實業界ノ不振ニ際シテモ別ニ著シキ影響ヲ認メス孰レモ希望方面ニ就職スルコトヲ得タリ生徒ノ實習ニ於テハ學科教授ト實習トノ連絡統一ヲ圖リ生徒ナシテ自發的奮勵ニ依リ研究的態度ヲ以テ從事スル習慣ノ養成ニ努メツ、アリ生徒教練ノ狀況ニ至リテハ大体中學校ト同一ニ付特記セス修學旅行ニ關シテハ毎年春季ニ縣内關西地方ノ地理歷史商業等ヲ視察セシメ裨益スル所數ナカラス工業學校ハ縣立一校ニシテ設備ノ狀況大体前年度ト異ナルコトナク着々器械器具等ノ充實ヲ圖リツ、アリ。

生徒訓育ニ就キテハ從來ノ方針ニ依リ工業家ニ適スル品性ノ養成ニ努メタレハ生徒ノ學業モ概シテ進歩ノ氣運ニアリ而シテ本年度ニ於ケル生徒ノ考查成績ヲ示セハ左ノ如シ。

受驗者總數	及第者總數	全百分率	學科總平均點
379	364	96.04	73.14

本年度ノ卒業者ハ上級入學者ヲ除キ他ハ孰レモ官廳會社等ニ就職スルヲ得タリ修學旅行及實習ニ關シテハ工業界ノ趨勢ニ鑑ミ智識ノ開發ヲ圖ル爲メ專ラ實務ノ練習ニ力ヲ致シ上級學年ニ對シテハ夏期休暇ヲ利用シ礪山、製作所其ノ他會社ニ於テ實地技術ノ練習ヲナシ多大ノ効果ヲ收メタリ又東京關西方面ニ旅行シ會社工場等ノ實地作業及設備ノ狀況ヲ視察セシメ工業上ノ實際的智識ノ收得ニ努

メタリ

本年度募集人員ハ各科四十五名ナリシカ志願者二百三十二名ニ達シ内ヨリ選拔試験ニ依リ化學三十九人機械四十四人ノ入學ヲ許可シタリ、學校ト實業界トノ關係ハ地方當業者ト連絡ヲ保チテ鑑定並ニ質疑ノ外各種ノ製造註文等ニモ應シツ、アレハ斯業ノ助長ニ多大ノ効果ヲ與ヘタルモノト認ム

職業學校ニ屬スル女子技藝學校ハ三校ニシテ之ガ設備ニ就テハ前年記述セシ如クニシテ特ニ記スヘキモノナシ生徒訓育ニ關シテハ從來ノ方針ニ則リ國民道德ノ振興婦德ノ養成技能ノ發達ニ留意シ社會ノ大勢ニ鑑ミ訓育上ニ意ヲ用ヒタル結果學業モ漸次向上シツツアリ

實業補習學校

實業補習學校ハ四百九十二校ニシテ内農業四百五十七校、商業十一校、水產六校、其他十八校ナリ之レチ前年度ニ比スレハ二校ヲ増加シタリ而シテ大部分ハ小學校ニ附設季節制ニ依ルモノナルカ故ニ教員ハ小學校教員ノ兼務ニ依ルモノ多數ナリ又生徒數ハ男二萬二千三百八人女一萬四十八人ニシテ之カ教育ノ普及改善ニ就テハ曩ニ補習學校實施要項ヲ制定シ女子補習機關ノ增設専任教員ノ配置ヲ獎勵スルト共ニ補助金ヲ交付シ以テ其ノ內容ノ充實成績ノ向上ニ努メタリ尙各町村ニ於テモ補習教育獎勵委員ヲ委嘱シ入學及出席ヲ督勵セシムル等適切ナル施設ヲナシツ、アリ

實業補習學校教員養成所

實業補習學校教員養成所ハ大正六年四月縣立農學校ニ加設シタル農業教員養成所ヲ大正十一年三月之ヲ廢止シ全年四月設置シタルモノナリ而シテ其ノ設備ニ就キテハ前年ト大差トキセ尙遺憾トスル点尠ナカラス教員ハ専任者三人ニシテ其他ハ縣立農學校ヨリ兼務ノ者ナリ生徒訓育ニ關シテハ本所所定ノ訓育領綱ニ從ヒ生徒ヲ指導シ教育者タルニ必要ナル素質ノ陶冶ニ努メツ、アルヲ以テ學業モ又成績ノ見ルヘキモノアリ生徒實習及修學旅行ニ關シテハ諸般ノ作業ヲ實地ニ見學セシメ又平素修學シタル事項ニ就キ山形、秋田、岩手ノ各縣下ニ旅行シ試驗場、學校農場等ノ施設並ニ經營ノ状況ヲ觀察セシメ實際上ノ智識ノ啓發ニ努メタリ

入學志願年ハ本年度四十一人ニシテ内二十七人ヲ選拔ノ上入學セシメタリ生徒給費ニ關シテハ毎月一人金二十五圓ノ學資ノ補給ヲナシツ、アリ又卒業生ハ本年度二十七人ニシテ孰レモ實業補習學校其ノ他小學校ニ就職シタリ

盲學校及聾啞學校

盲學校ハ縣立一校私立一校ニシテ縣立盲、聾啞學校ハ昭和元年九月新校舍ニ移轉シ其ノ設備稍備ハリタルモ近年斯種教育ノ普及ニ伴ヒ校舍寄宿舍共ニ狹隘ヲ告ケ

生徒教養上支障尠ナカラス從テ校具類ニ至リテモ尙充分ナラサルモノアルヲ以テ校舎ノ増築ト共ニ着々之方整備ニ努メツツアリ

私立ニ係ル土浦盲學校ハ大正十四年四月新校舎ニ移轉後諸般ノ設備ニ努力シツ・アルヲ以テ漸次完備セラレタリ

教員ノ需要供給其ノ他ヲ略記スルニ特殊教育ニ從事スルモノナレハ比較的異動少ナク之カ待遇ノ途モ幾分向上セラレタリ生徒訓育ニ關シテハ個性調査ヲ周密ニシテ特ニ聾啞者トシテ有スル通有ノ欠陥ヲ矯正ニ努メ將來有用ナル國民ヲシムルコト努力シツ・アリ生徒卒業後ノ狀況ヲ見ルニ聾啞生ハ裁縫、洋服業、金職工其ノ他ハ概シテ農業ニ從事スルモノ多ク盲生ハ教員其ノ他ハ鍼灸業ニ從事シツ・アリ

生徒失官原因ヲ區別スレハ左ノ如シ

失官原因	茨城縣盲學校						茨城縣土浦盲學校					
	初等部			中等部			初等部			中等部		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
角膜實質炎	2	1	3	1	1	2	5	2	7	4	1	5
視神經消耗症	--	--	--	1	--	1	1	1	2	1	--	1
色素性網膜炎	1	--	1	1	--	1	--	--	--	--	--	1
網膜疾患	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
角膜潰瘍	--	2	2	4	--	4	3	--	3	2	--	2
先天性	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
風眼	1	--	1	1	1	2	--	--	--	--	--	--
脳膜炎	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
白內症	1	--	1	--	--	--	--	--	--	--	--	--
膜漏眼	3	--	3	1	1	2	--	--	--	--	--	--
強度近視	1	--	1	2	--	2	--	--	--	--	--	--
外傷	--	--	--	1	--	1	--	--	--	--	--	--
トラホム	1	--	1	1	--	1	--	--	--	--	--	--
眼球内結核	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
ムシ	2	--	2	1	--	1	--	--	--	--	--	--
遺傳性毒	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--
麻痺	--	1	1	1	--	1	--	--	--	--	--	--
計	13	4	17	15	3	18	9	3	12	7	1	8

茨城縣聾啞學校

失官原因	初等部			中等部		
	男	女	計	男	女	計
先天性	16	7	23	--	2	2

失 官 原 因	初 等 科			中 等 科		
	男	女	計	男	女	計
腦 膜 炎	5	—	5	—	—	—
腦 打 撲	2	—	2	—	—	—
中 鼓 耳 炎	3	—	3	—	1	1
鼓 膜 破 裂	—	—	—	1	—	1
肺 不 祥	—	—	—	—	—	—
計	27	8	35	1	3	4

各 種 學 校

各種學校ハ私立三十七校ニシテ前年ニ比シ一校ヲ増加シ内休校廢校同様ノモノ九校アリ而シテ多クハ個人經營ニ係ルヲ以テ維持困難ナル爲メ其ノ設備十分ナラス然レトモ相當教員ヲ有シ教授法モ漸次改善セラレシ、アレハ入學志願者モ遂年增加スルニ至リ地方青年子女教導ニ裨益スル所歎カラス

學 校 園 及 植 栽

學校園ノ設置ハ教育上須要ナルヲ以テ各學校學園ヲ設置スルモノ多ク之カ完備シ督勵シツツアリ學林ハ概ネ山間部ニ於テ設置シアリテ其ノ成績良好ナリ而シテ學園學林ノ植栽手入等ニ就テハ受持教員指導ノ許ニ生徒兒童ヲツテ直接之ニ當ラシメツツアルテ以テ教授上將又德育上ニ於テ其ノ効多大ナリシナ認ム

教員検定及免許狀授與

小學校教員檢定試驗ニアリテハ毎年二回無試驗ハ隨時之ヲ施行ス而シテ本年度ニ於ケル檢定總員數ハ男千三百五十一人女三百八十四人ニ達シ合格者男四百四十一人女百九十八人ヲ得タリ其ノ他師範學校ニ依ルモノ男百五十三人女百五人ニシテ免許狀授與總人員ハ前年度ニ比シ三十七人ヲ減シタリ

教 科 用 圖 書

本年度ニ於ケル教科用圖書ノ需要供給ハ概ネ良好ナリ

社 會 教 育

(イ) 圖書館ハ公立四十三、私立三十四、計七十七館ニシテ前年ニ比シ十二館ヲ增設シタリ而シテ其ノ設備ハ縣立ニアリテハ漸次改善セラレ稍備ハリタリト雖凡尙不備ノ点多シ又其ノ他ノ圖書館ニアリテモ概シテ完全ナリト云フナ得ス圖書冊數ハ十三萬千九百二冊閱覽人員ハ二十五萬七千九百三十九人ナリ巡回文庫ノ施設ヲナスモノ十三館其他ハ簡易圖書館ニシテ青年團ノ經營ニ係ルモノ

多ク地方改良通俗教育上裨益スル所尠カラス

(口) 教育参考館ハ大正四年十一月先帝御即位大禮ヲ紀念シ縣下社會教育及學校教育ノ改善ニ資ヘル目的ヲ以テ設置シタルモノニシテ陳列品ハ二千八百四十五点主タルモノハ理學、工學、歴史ニ關スル參考品其ノ他等ナリ閲覽人員ハ八萬九百五十人一日平均二百七十一人團体數百三十八組ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ四萬千四百十一人ヲ增加シタリ本館ノ施設ハ漸次普及セラレ年々從覽人も增加シ多大ノ効果ヲ收メツヽアリ
教育品展覽會ニアリテハ父兄懇話會、學藝會等教育的會合ノ際兒童成績品展覽會ヲ併セ開催スルモノ多ク公衆一般ノ從覽ヲ許シ以テ家庭トノ連絡向上心ノ振興上裨益スル所専ナカラス

(ハ) 青年團及少年團

青年團ニ就キテハ時代ノ進展下青年ノ自覺トニ依リ各市町村共之力設置セサルモノナク男青年團ノ數ハ三百八十四團體ニ達シ各町村聯合シテ郡青年團ヲ組織シ更ニ縣青年團ニ統一セラレ會員數五萬三千四百四十二人ヲ算スルニ至レリ之レカ教養指導ハ内務、文部兩大臣ノ訓令ニ基キ時運ニ藉ヘ又地方ノ實際ニ徴シ夫々滴切ナル施設ヲナシ殊ニ体育ノ獎勵ト思想ノ善導トニ就テハ尤モ力ヲ致シ青年大會体育指導者講習會、青年幹部講習、青年講座ヲ開催シ身體ノ鍛練精神ノ修養ニ資スル所大ナリ郡及町村青年團モ又前述同様開催シテ自練的ニ各種修養施設ニ努力シツヽアリ其ノ主タルモノハ辯論會講演講話會圖書文庫ノ開設、會報ノ發行、敬老會、道路修繕、勤儉貯蓄ノ實行補習教育就學獎勵等ナリ女子青年團ニ於テハ近年大ニ發達シ其ノ數三百七十三團體ニシテ三萬二千五百七人ノ會員ヲ有スルニ至レリ郡聯合團ノ設立ヲ見タルモノ數郡アレトモ其ノ施設經營男青年團ニ比シ一籌ヲ輸スルハ遺憾ナリ主タル施設ハ勤儉貯蓄、巡回文庫ノ設置、會報發行、敬老會、風俗習慣ノ改善、各種講演講話會ナリ
男女少年團ニ就テハ創立日尚淺ク其ノ主旨充分徹底セサル感アルヲ以テ銳意其ノ本義ノ普及徹底ニ努メツヽアレハ遂年發達シ團數八十七團團員一萬二千二百二十人女八千九十一人ヲ有スルニ至リ之カ多クハ小學校ヲ中心トシテ設立シタルモノニシテ團員ノ年齢ハ七才ヨリ十五才迄トシ昭和二年度ノ經費ハ三、一七〇圓タリ而シテ主タル施設ヲ舉クレハ講演會、書籍ノ講讀、自習會等ノ宣傳交通衛生ノ宣傳、軍事的訓練等ナリ

(二) 成人教育

成人教育ニ就テハ文部省及縣主催ヲ以テ成人教育講座ヲ水戸市内及市外地ニ於テ二十回ニ亘リテ開講シ孰レモ相當ノ聽講者ヲ得十分其ノ目的ヲ達成シタルモノト認メラル

教 育 會

縣教育會ハ社團法人ニシテ縣下十五ノ各郡市教育會團體ヨリ成リ其ノ事業ノ主

タルモノハ教員ノ養成、鮮滿視察員ノ派遣、夜間中學ノ經營、教育上諸問題又ハ教科書ノ調査、編纂機關雜誌及兒童讀物、通俗講話會又ハ名士ヲ聘シ夏期大學ヲ開催スル等一般教員ノ研究修養ニ資スルト共ニ小學及補習教育上裨益スル所尠カラス又郡市教育會ハ郡内教育關係者有志ヲ以テ組織シ經費ハ市町村費ノ補助、會員ノ負擔寄附金ヲ以テ之維持ニ努メツ、アリ而シテ其ノ事業ハ講習、講話、圖書館ノ施設雜誌ノ發行、學事視察、優良兒童ノ表彰等ニシテ地方教育上貢獻シツ、アリ

教育ニ關スル法人

教育ニ關スル法人ノ現在數ハ社團法人八財團法人一〇計一八ナ

青 年 訓 練 所

青年訓練所ハ大正十五年七月一日ヲ以テ縣下一市三百八十ヶ町村一齊ニ開設セラレ現在設置數公立四百四所、私立三所ナリ而シテ實業補習學校ノ充當ニ就テハ青年訓練所令ノ本旨ヲ稽ヘ全縣下ニ創設ヲ獎勵スルト共ニ之之力實施ニ當リテハ補習學校トノ連携ヲ十分ニ保ツ必要アルヲ以テ孰レモ實業補習學校ニ併置シ其ノ校職員ヲ指導員ニ囑託シ一町村一訓練所ヲ本体トシ訓練ノ統一ヲ期シタリ現在ニ於テハ青年訓練所規程第六條ニ依リ公立實業補習學校ヲ充用シタルモノナク又私立訓練所ハ三所ニシテ孰レモ其ノ工場ニ雇傭セルモノヲ收容シ居ルカ故ニ入所出席共ニ其ノ歩合良好ニ又訓練ノ實績モ優良ナリ訓練ノ狀況ニ就テハ學科ハ學校職員又教練ハ在郷軍人タル指導員之レヲ担当シ可成年中持續的ニ訓練ヲ施ス様教育ノ豫定ヲ立案實施セツメ農繁期ト雖モ一ヶ年少クモ二回召集訓練ヲ實施スル様勤勵シツ、アリ目下ノ狀況ハ學科ハ夜間且農閑ノ季節ニ教練ハ晝間通年的ニ實施セラレル傾向ニアリ入所及退所ノ狀況ハ入所良好ナルモ亦半途退所者ヲ生セシタ見ルナ遺憾トス教練查閱ノ成績ハ概シテ良好ナル狀態ニアリ

學事ニ關スル講習及旅行

- (イ) 教員講習ハ縣及市郡教育會主催ニテ十七回開催シ講習日數五百一日人
員三千百五十二人ニシテ各科ニ就テ實際的研究ヲナサシタルヲ以テ孰レ
モ相當ノ効果ヲ收メルモノト認ム

(ロ) 學校長教員保姆ノ學事研究並ニ視察ニ關スル旅行ノ狀況ニ就テハ其教授
ノ徹底ヲ期スル爲メ經費ノ許ス限リ勢メテ各科教授研究會又ハ管内、外ノ學
校ニ出張シ經營施設ノ狀況並教授訓育ノ實際等ノ視察ヲナシタルヲ以テ相
當其ノ實益ヲ收メ得タルモノト認メラル旅行調別表ノ如シ

學 校 衛 生

1. 學校醫ノ設置シテアル公立學校ニ就キ種別スレハ小學校五百二十九校師範學校二校、中學校八校、高等女學校十二校、實業學校(甲、乙)十校、實業補習學校四校實業補習學校教員養成所一校、盲學校一校、聾啞學校一校合計五百七十六校ニシテ兼務者多ク之レカ實人員ハ三百五十七人ナリ而シテ學校視察ノ狀況ハ定期検査ノ外「トラホーム」ノ檢診治療寄生虫及頭虱ノ驅除ノ實施ニ盡力スト同時ニ時々一般衛生ニ關スル講演會等ヲ開催シツ、アルヲ以テ前年ニ比シ稍良好ノ成績ヲ擧ケタリ尙飲料水、寄宿舍等ニ付テハ特ニ注意シ専ラ生徒兒童ノ保健ニ努メツ、アリ就中中等學校ニ於テハ比較的衛生設備完備シ居ル

其ノ他ニ於テハ尙不充分ノ点アルヲ以テ一層之カ改善進歩ニ努メントス
學校醫ノ實入員ヲ資格別ニ依リ區別スンハ次ノ如シ

一、帝國太學醫科大學醫學科卒業者	十人
二、官立醫學專門學校醫科及元高等學校 並高等中學校ノ醫學部醫學科卒業者	九人
三、元東京大學醫學部本科又ハ別科卒業者	四三人
四、大阪府京都府愛知縣醫學校及府縣立甲種醫學校卒業者	九人
五、東京帝國大學醫科大學國家醫學講習科修了者	九人
六、其ノ他醫術開業免狀ヲ有スル者	一九六人
計	三七六人

2、學校看護婦ニ就テハ末々設置ニ至ラサルモ最近其ノ必要ヲ認メ自治的ニ之レカ豫算ヲ計上セントスルモノアルニ至レリ

3、衛生設備、教授衛生、体育運動ニ關スル狀況

(イ)衛生設備ニ就テハ先づ校地ノ選定及校舍建築等ニ校醫ト協調ヲ遂ケ其ノ他屋外体操場、便所水呑場井戸ノ改善ニ留意シツ、アリ

(ロ)教授衛生トシテハ通學最遠里程及方法、學級人員、授業時間後ノ休息、睡眠時間等ニ留意シ尙毎學期一回以上ノ座席交換、最前列兒童ト教壇トノ巨離、季節的時間割ノ變化、劣等兒教育、病的兒童ノ取扱等ニ對シ學校醫ト協力シテ努力シツ、アリ

(ハ)体育運動ノ振興ニ關シテハ漸次其ノ氣運ハ向上セラレ女子中等學校體育聯盟及指導者體育聯盟等ヲ組織シ最近男子中等學校ニ於テモ之レカ實現化セラレムトシツ、アリテ相當運動獎勵ニ努力スルト同時ニ之レカ結果ノ惡影響ヲ少ナカラシム様留意セラレツ、アルノ狀況ナリ

4、職員生徒兒童ノ健康狀態ニ關スル狀況

(イ)職員疾病ニ依リ退職、休職、死亡者ハ左ノ通りニシテ概シテ少ナク良好ノ成績ヲ擧ケツ、アリ

	退職者	休職者	死亡者	
小學校職員	25	13		7
中等學校職員	3	—		3
計	28	13		10

(ロ)生徒兒童ノ健康狀態ハ優良ナラサルモ其ノ主ナル病類別ヲ見レハ齶齒、トラボーム、寄生虫、扁桃線肥大、脊柱後灣等ニシ校醫モ之レカ豫防及治療ニ付相當盡力セラレツ、アリ

5、發病豫防及治療施行ノ狀況

學校職員生徒兒童ニ於テ身体ニ異狀アル者ニ對シテハ直ニ校醫ノ診療ヲ求メ其ノ病状ニ依リ入院又ハ歸郷治療ヲ命スル等萬遺憾ナキヲ期シツ、アリ6、學校給食ニ關シテハ短期間ニ於テ牛乳等ヲ給與スル學校十二校アルノミナリ

縣會及市町村會

縣市町村會ニ於ケル學事ニ關スル議事ノ狀況ハ慎重ニ審議セラレ協賛ヲ與ヘ漫リニ削減ヲ加フルコトナク穩當ノ決議ヲナスノ狀況ニアリ

學事關係職員及學事視察

本縣學事關係職員ハ視學官一人、地方事務官一人、社會教育主事一人、視學七人、屬十人、囑託二人、市ニ於テハ主事一人、視學一人、書記一人ナリ

本年度學事視察ハ視察官、師範學校長ハ專ラ學校設備教授訓練養護ノ良否並教育事務ノ整否ヲ、社會教育主事ハ專ラ青年訓練所青年團ノ經營狀況ヲ視察セリ而シテ小學校ニ就テハ詳密視察、概要視察ノ外教授ニ亘リテ視學ノ合同視察ヲ行ヒテ徹底的ニ視察ヲナシタリ又各市町村ニ於テハ三名乃至八名ノ學務委員ヲ置キ夫々區內ノ教育事務ニ關シ市町村長ヲ補佐シ特ニ就學出席ノ督勵ニ努メ相當成績ヲ收メツ、アリ

學事獎勵

學事獎勵ニアリテハ前年來ノ施設ヲ繼承シ本年度ニ於テハ實業學校、實科高等女學校、教育會、青年會、育才會等ニ對スル補助金ノ交付小學校教員住宅設備費、研究會費、社會事業ノ補助獎勵ヲナシ又教育功勞者及優良ナル學校ノ表彰ヲ行ヒ貧困ノ爲メ就學シ得サル兒童ノ保護救濟ヲナス等銳意教育ノ普及振興ニ努メタリ

將來學事施設上須要ノ件

- 一、學校ノ設備ノ改善並ニ內容ノ充實ヲ圖ルコト
- 一、就學事務ヲ改善シ貧困兒童ノ保護救濟ヲ全カラシメ以テ義務教育ノ徹底ヲ期スルコト
- 一、時代ノ趨勢ニ鑑ミ道徳教育ノ向上ト國家觀念ノ涵養ニ努ムルコト
- 一、高等小學校ニ於テハ實業科、家事科、手工科ノ設備ヲ完成シ學科擔任制ヲ加味シ內容ノ改善充實ヲ期スルコト
- 一、師範教育ノ改正ニ伴フ設備內容ノ充實ヲ期スルコト
- 一、中等教育機關ヲ増設シ教育ノ機會均等ヲ圖ルコト
- 一、教員ノ實力養成ト資格ノ向上ヲ期シ職務意識ヲ一層旺盛ナラシムルコト
- 一、通年制實業補習學校ノ設置ヲ獎勵シ専任教員ノ增加ヲ圖リ又季節制ノ長所ヲ益々發揮セシムルコト

二、補習學校教員養成機關ヲ整備スルコト

二、青年訓練ノ徹底ヲ期スルコト

二、女子青年團ノ振作發達ヲ圖ルコト

二、成人教育、公民教育ノ振作發達ヲ圖ルコト

二、各種教化團体ノ振興ヲ圖リ其ノ他完全ナル自治ヲ期スルコト

公學費及公學資產

昭和二年度ニ於ケル公學費總額ハ八百七萬六千五百九十一圓ニシテ内縣經濟ニ屬スルモノ百六十三萬九千八百十五圓、市經濟ニ屬スルモノ十八萬三千六百十一圓、町村經濟ニ屬スルモノ六百二十五萬三千百六十五圓ニシテ前年度ニ比スレハ總額ニ於テ二十六萬六千五百六十三圓乃チ○割三分四厘ノ増加ヲ示セリ其ノ増減ヲ前年度ニ對比スレハ次ノ如シ

	公 學 費 支 出 額		前 年 二 比 シ	
	前 年 度	本 年 度		
縣 市 町				円
村				円
計				円
	1,497,703	1,639,815	142,112	
	155,031	183,611	28,580	
	6,157,294	6,253,165	95,871	
	7,810,028	8,076,591	266,563	

各種別ニ依リ前年度ニ對比スレハ次ノ如シ

	公 學 費 支 出 額		
	前 年 度	本 年 度	前 年 二 比 增 減
小 師 中 高 實	學 範 等 等	學 校 校 校 校	學 校 校 校 校
		円	円
		5,398,149	5,503,816
		389,051	393,494
		459,170	462,362
		260,752	324,525
		700,383	773,825
實業	補習	學校 教員養成所	
盲	等	11,697	12,226
聾	學	29,497	7,820
圖	書	4,932	5,884
教	參	14,899	14,893
		2,194	2,821
青	年	136,744	165,180
其	訓	402,560	410,235
	練	7,810,028	8,076,591
	計		

而シテ増減ノ主タル理由ハ盲學校ニ於テ減シタルモ小學校、女學校、實業學校ノ學級增加ニ伴ヒ經費ノ自然増加シタルト其ノ他學校ノ器具器械ノ完實等ノ爲メ支出多カリシ結果ニ因ル公學費收入總額ハ二千九十七萬七千五百九十五圓ニシテ縣經濟ニ屬スルモノ六十五萬四千七百八十七圓、市經濟ニ屬スルモノ七萬三百十一圓、町村經濟ニ屬スルモノ二百二十五萬二千四百九十七圓ニシテ前年度ニ比シ十九萬六千九百二十一圓乃チ○割七分一厘ノ増加ヲ示セリ之レカ主タル原因ノ

生徒兒童增加ニ伴ヒ授業料及各種補助金ノ増額シタル結果ニシテ其ノ増減ヲ前年度ニ對スレハ次表ノ如シ

	公 學 費 收 入 額		前 年 二 比 シ	
	前 年 度	本 年 度	前 年	增 減
縣 市 町 計 村	円 577,080 62,816 2,140978 2,780,674	円 654,787 70,311 2,252,497 2,977,595	円 77,707 7,495 111,719 196,921	円 — — — —

學校基本財產ハ市立學校五千五百七十五圓、町村立學校八十三萬六百四十三圓、計八十三萬六千二百十八圓、土地ハ町村立學校ノミニシテ二百二萬四千七十坪ナリ之ヲ前年度ニ比スレハ金額二萬六千二百七圓、土地坪數ニ於テ十二萬七千四十坪ヲ減シタリ又積立金ハ市町村學校ノ二十萬五百二十八圓ニシテ前年度ニ比シ三萬八千四十二圓ヲ減シタリ而シテ之等金額ノ管理ニ關シテハ公債、有價証券多ク其ノ他ハ郵便、銀行貯金等ノ確實ナル方法ニ依リ利殖ヲ圖リ又土地中田畠ハ貸付森林其他ニ就テハ植樹ヲ爲ス等將來ノ收益ノ途ヲ講シツ、アリ

基本財產金額及積立金ノ減シタルハ校舍建築ノ爲メ繰入充當シタル町村アリタルニ依ルモノトス

教育資金

本年度小學校設備費トシテ貸付タル金額ハ五萬千五百圓教育獎勵其ノ他普及改善ニ支出シタル普通教育獎勵金ハ七千八十圓、小學校教員疾病療治料三百六十圓計五萬八千九百四十圓ニシテ本年度戻入タル金額ハ四萬七千三百三十三圓ナリ而シテ年度末現在貸付金額ハ十一萬八千八百三十五圓ナリ

教育及學藝ニ關スル資金ノ類

學事獎勵ノ爲メ獎勵資金ヨリ本年度ニ於テ支出シタル金額ハ二百七十一圓ニシテ縣立學校優良生徒ヲ表彰シ夫々賞品ヲ授與シタリ年度末現在高ハ四千三百六十四圓八十七錢八厘ナリ

兒童就學獎勵資金

大正十三年御下賜アラセラレタル資金二萬三千八百六十三圓ヲ蓄積シ之ニ對シ縣ニ於テ相當金額ヲ資金ニ編入シ尙之レヨリ生スル収入ヲ以テ本年度ニ於テ千七百八十二圓ヲ貧困兒童獎勵金トシテ交付セリ年度内ニ於ケル市町村貧困兒童獎勵ノ状況ヲ示セハ次表ノ如シ

市町村就學獎勵費收入狀況

	縣 交 付 金	市町村 支 出 額	寄 付 金	計
市町 村	— 1,782	— 3,511	— —	— 5,293

市町村兒童就學獎勵費給與狀況

	受 約 人 員				
	男	女	計		
教 學 食 被 生 其	科 用 料 活 計	書 品 品 服 費 他	160 461 — 118 43 — 782	140 385 — 68 43 — 636	300 846 — 186 86 — 1,418

男女青年團體事業獎勵資金

大正十四年御下賜アラセラレタル資金一萬八千圓ヲ蓄積シ之レヨリ生スル收入ナ以テ本年度ニ於テ千二百三十二圓ヲ支出シ男女青年幹部講習會、講演會等ヲ開催シ之レカ指導獎勵ニ努メタリ

市町村立小學校教員加俸資金

市町村立小學校教員加俸資金ハ總額十一萬六千二百十七圓七十四錢ニシテ年功加俸支給金額九萬二千七百十七圓、特別加俸四千九百十八圓七十五錢然シテ縣納金ハ九百四十七圓六十八錢ニシテ其ノ差額一萬七千六百三十四圓三十一錢ハ翌年度ニ繰越シ銀行ニ預金シタリ

公立學校職員年功加俸資金

公立學校職員年功加俸資金ハ總額六萬百三十四圓三十錢、年功加俸支給金額ハ四萬六千九百九十三圓五十錢ニシテ國庫納金三百八十六圓九十八錢縣納金二十三圓ナリ而シテ其ノ差額一萬二千七百三十圓八十錢ハ翌年度ニ繰越シ預金シタリ

市町村義務教育費國庫負擔法ニ依ル交付金

市町村義務教育費國庫負擔法ニ依リ本年度管内市町村ニ交付セラレタル金額ハ百八十一萬六千百四圓五十三錢ニシテ其ノ大部分ハ教員俸給及住民負擔ノ輕減ニ充分シタルヲ以テ市町村經濟ヲ幾分緩和スルニ至リタルモノト認メラル之カ支途金額ヲ區別シタル前年度總額ニ比スレハ十三萬七千五百十三圓五十三錢ノ增加ナリ支途ニ依リ種別スレハ次表ノ如シ

種 別	市	町	村	計
教員俸給ニ充當シタル金額	35,526	228,950	623,306	887,782
教員増俸ニ充當シタル金額	—	14,922	46,420	61,342
教育施設改善ニ充當シタル金額	—	39,141	132,648	171,789
住民負擔ノ輕減ニ充當シタル金額	—	113,602	505,104	618,706
他ノ經費ニ充當シタル金額	—	31,393	45,081	76,474
計	35,526	428,008	1,352,559	1,816,093

公學費及公學資產增減理由

縣本年度支出總額ハ百六十三萬九千八百十五圓ニシテ前年ニ比シ十四萬二千百十二圓ヲ增加シタルハ生徒給費、圖書機械器具費、修繕費ノ著シキ增加シタルニ因ルモノニシテ其ノ主タル增加ハ境中學校ノ新設、取手農學校、太田高等女學校ノ縣移管、師範學校學級增加ニ伴ヒ校舍ノ新築増築及生徒給費ノ支出多カリシニ依ル又收入總額ハ六十五萬四千七百八十七圓ニシテ前年度ニ比シ七萬七千七百七圓ノ增加ヲ示シタルハ生徒增加ニ依ル授業料、學校建設指定寄附及師範教育改善費トシテ國庫補助アリタルニ因ル

土地ハ敷地二十五萬二千七十三坪、附屬地八萬三千七百三十一坪建物ハ教場一萬千二百八十五坪、其他二萬五千八百六十五坪ニシテ前年ニ比スレハ敷地三萬四百二十九坪、附屬二千六百八十四坪建物ハ教場千二百七坪、其他千五百九十一坪及土地價額乃至器具價額ニ於テ五十六萬三千六百六十七圓ノ增加ヲ見タルハ校舍ノ增改築シタルト其他設備ノ改善施設ニ努メタル爲ナリ

市本年度支出總額ハ十八萬三千六百十一圓ニシテ前年度ニ比シ二萬八千五百八十圓ノ增加シタルハ主トシテ青年訓練所指導員手當、小學校新營費ノ支出多カリシニ依ル收入總額ハ七萬三百十一圓ニシテ前年ニ比シ七千四百九十五圓ヲ增加シタルハ授業料及國庫交付金ノ增加シタルニ依ルモノナリ又公學資產土地ハ敷地二萬七百二十三坪建物三千九百十一坪、其ノ他千二百六十七坪ニシテ前年ニ比シ敷地四千九十二坪增加シタルハ實測ノ結果ニ依ル教場六百三十一坪ノ增加シタルハ小學校舍増築シタルニ依ルモノトス町村本年度支出總額ハ六百二十五萬三千六十五圓ニシテ前年度ニ比シ九萬五千八百七十一圓增加ヲ示シタルハ主トシテ青年訓練所指導員手當、圖書器械標本費其ノ他ノ諸費ノ支出多カリシ結果ナリ收入總額ハ二百二十五萬二千四百九十七圓ニシテ前年度ニ比シ十一萬千七百十九圓ノ增加シタルハ生徒兒童增加ニ基キ授業料指定寄付及補助金ノ增加シタル爲メナリ又公學資產土地ハ敷地九十六萬五千百一坪附屬地六萬三千八百三十四坪、建物ハ教場十一萬二千百七十一坪、其他十萬三千四百五十三坪ニシテ之ヲ前年度ニ比スレハ敷地三萬千八百二十一坪、建物其他四萬九千三百三十坪土地價格乃至器具ハ價格ニ於テ百七萬六千九百四十一圓ヲ增加シタリ其ノ理由ハ校舍ノ增改築シタルト其ノ他ノ設備ノ改善施設ニ努メタル爲ナリ教場坪數ノ前年ニ比ツ三千二百二十九坪減シタルハ校舍ノ焼生シタルト模様替チナシタルモノアリルニ依ル